

# 有線式バーコードリーダー クイックスタートガイド



## 対象機種

F460	F560	F680
		
L680	F780	
		

この度は有線式バーコードリーダーを  
ご購入頂き誠にありがとうございます。

ご利用前に本誌を十分にお読みいただき製品の準備を行って下さい。

## 製品のお取り扱いの注意事項

---

本製品は安全性を十分に考慮して設計されていますが、誤った使い方をすると思わぬ事故の原因となります。ご利用方法を十分に理解してお使い頂けますようお願い申し上げます。

## 製品の開梱

---

梱包箱を開けた際は、下記の確認を行ってください。

- ・製品およびケーブル等の損傷がないか確認します。  
損傷があった場合は、すぐに配達運送会社および販売店にご連絡ください。
- ・箱の中身に間違いがないか確認します。
- ・修理時の返却もしくは返送が必要な場合に梱包箱が必要になる場合がございます。  
大切に保管してください。

## ステータスインジケータの表示状態

---

- ・無点灯                    . . . 読み取り待機状態 又は電源 OFF
- ・青点灯（緑点灯） . . . 読み取り成功

## 免責事項

---

- ・GINO ブランド（PCWotr社）及び弊社は、本書に記載された使用およびその他の情報を事前に断りなく変更することがあります。
- ・本書の記載内容や編集上の誤り等で発生した損害については、PCW 及び弊社は一切の責任を負いません。
- ・本書には著作権で保護された情報が含まれ著作権法の対象になります。

## サポートページのご案内

---

各種ツールやドキュメントをご希望の方は下記の URL よりダウンロード頂けます。

「サービス&サポート」のホームページ URL

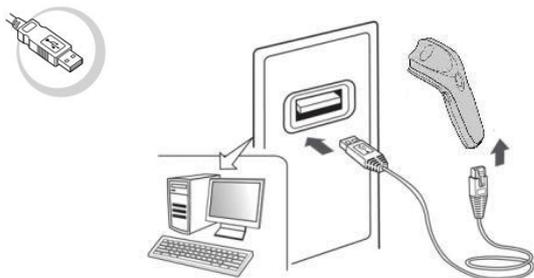
<http://www.improject.co.jp/support/download.html>

ユーザーID : cinopartner    パスワード : improject

## インターフェースコネクタの接続

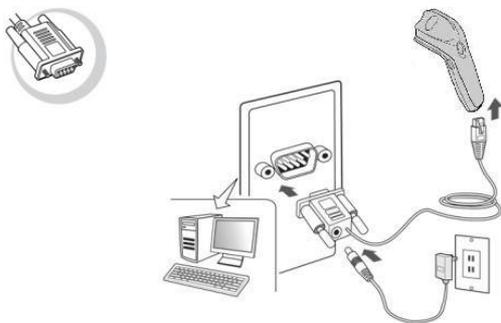
本バーコードリーダーのインターフェースは USB、RS232C、PS/2 (DOS/V) を選択頂けます。  
選択したインターフェースに応じてホストに正しく接続して下さい。

### USB インターフェース (HID 又は COM)

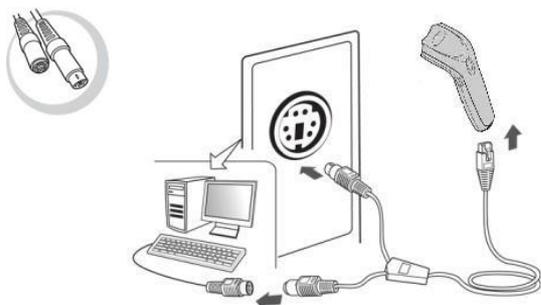


\*USB (COM) ポートエミュレーションをご選択の方はホストに USB コネクタを接続する前に  
専用の USB シリアルドライバーをインストールして下さい。

### RS232C インターフェース



### PS/2 (DOS/V) インターフェース



## 各部名称

各モデルの各部名称は以下の表ををご参照下さい。

モデル名		ケーブルの着脱方法
F460		
	パワーインジケータ ステータスインジケータ トリガー スキャンウインドウ ビーパ ケーブルリリースホール	
F560		
	ステータスインジケータ トリガー スキャンウインドウ ビーパ ケーブルリリースホール	
F680/L680		
	パワーインジケータ ステータスインジケータ トリガー スキャンウインドウ ビーパ ケーブルリリースホール	
F780		
	パワーインジケータ ステータスインジケータ トリガー スキャンウインドウ ビーパ ケーブルリリースホール	

## 各インターフェースの導入時設定

機器お届け時はご指定のインターフェースに応じた設定を行っております。

詳細な設定の必要のない場合は、接続してすぐにお使いいただけます。

繰り返しスキャナを機器に接続してもデータが表示されない場合は、以下に記載する項目を設定していただくことでお届け時の設定に戻すことができます。



### USB (HID) インターフェース

Factory Default (工場出荷時設定)



USBスタンダードインターフェース



日本語キーボードレイアウト



設定開始



バイブレーションコントロール



無効



設定終了



本設定を繰り返し行ってもデータが表示されない場合は販売店にお問い合わせ下さい。

## 各インターフェースの導入時設定



### USB (COM) インターフェース

\*USB (COM) インターフェースでご使用の場合は、接続機器に専用の USB シリアルドライバーのインストールが必要となります。

↓ USB シリアルドライバーは下記のサイトよりダウンロード出来ます。 ↓

<http://www.improject.co.jp>

Factory Default (工場出荷時設定)



USB (COM) ポートエミュレーション



設定開始



バイブレーションコントロール



無効



設定終了



本設定を繰り返し行ってもデータが表示されない場合は販売店にお問い合わせ下さい。

## 各インターフェースの導入時設定



### RS232C インターフェース

RS232C の通信初期設定			
ボーレート	: 9600	パリティ	: None
データ長	: 8	ストップビット	: 1

Factory Default (工場出荷時設定)



RS232C インターフェース



設定開始



バイブレーションコントロール



無効



設定終了



本設定を繰り返し行ってもデータが表示されない場合は販売店にお問い合わせ下さい。

## 各インターフェースの導入時設定



### PS/2 (DOS/V) インターフェース

Factory Default (工場出荷時設定)



PS/2 (DOS/V) インターフェース



日本語キーボードレイアウト



設定開始



バイブレーションコントロール



無効



設定終了



本設定を繰り返し行ってもデータが表示されない場合は販売店にお問い合わせ下さい。

## オペレーションモード

ご使用の用途に応じてスキャナの動作モードを選択することができます。  
該当の項目を読みとって頂くことで設定が変更されます。

トリガーモード（初期値）	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
トリガーを引くと読み取りLEDを発光します。 バーコードをデコードするとスキャナは待機状態になります。	
ローパワーモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
トリガーを引くと読み取りLEDを発光します。 バーコードをデコードするとスキャナは休止状態になります。 この設定はをすることで省電力設定としてご利用いただけます。	
プレゼンテーションモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
周囲の光の差分を検地して読み取りLEDを発光します。 デコード後一定時間が経過すると自動消灯しは周囲に変化があると再度自動発光します。 注1：周囲Luxの環境が十分でない場合、適切に動作しない場合がございます。	
フォースモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
自動で継続的に読み取りLEDを発光します。 バーコードを高速でデコードする環境にはこのモードをご利用ください。	

## オペレーションモード

フラッシュモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
自動で継続的に読み取りLEDを点滅発光します。 点滅のタイミング時間は設定により変更することが出来ます。	
オルタネイティブモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
トリガーを引くと読み取りLEDを発光します。 発光中は連続して読み取りを行いますが一定期間が経過すると消灯するモードです。	
トグルモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
トリガーを引くと読み取りLEDを発光します。 発光中は連続して読み取りを行い発光中に再度トリガーを引くと読み取りLEDを消灯します。	
レベルモード	
(F460、F560、F680、L680、F780)	
	
トリガーを引くと読み取りLEDを発光します。 発光してから設定した時間を経過したら読み取りLEDを消灯します。	

## レコードサフィックスの設定 (USB・PS/2 のみ)

読み取りデータに終端キーを付加する設定となります。

例：リターンキーを設定すると読み取りデータにリターンキーを自動的に付加して出力します。

該当項目を読み取っていただくことで設定が付加されます。

無効	リターン (初期値)
	
タブ	スペース
	
エンター ※テンキー	
	

## キャプスロックの設定 (小文字・大文字反転機能)

お使いの機器のキーボードのキャプスロック状態が初期値と違う場合に設定を行ってください。

① ~ ④の順番に読み取って頂くことで設定が付加されます。

①：設定開始	②：キャプスロック
	

③：以下の3項目より1つを選択して読み取ってください。

無効	有効
	
自動判別	
	

④：設定終了


## RS232C インターフェースの通信設定

初期値の通信設定がお使いの通信設定と違う場合に設定を行ってください。

該当項目を読み取って頂くことで設定が付加されます。

### ボーレート ( Baud Rate(BPS) )

38400	19200
	
9600 (初期値)	4800
	

※他のボーレートをご希望の場合はプログラミングマニュアルで設定して下さい。

### データフレーム ( Data Frame )

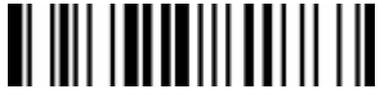
8ビット、パリティなし、1ストップビット (初期値)	7ビット、スペースパリティ、1ストップビット
	
8ビット、奇数パリティ、1ストップビット	7ビット、マークパリティ、1ストップビット
	
8ビット、偶数パリティ、1ストップビット	7ビット、パリティなし、2ストップビット
	
8ビット、スペースパリティ、1ストップビット	7ビット、奇数パリティ、2ストップビット
	
8ビット、マークパリティ、1ストップビット	7ビット、偶数パリティ、2ストップビット
	
8ビット、パリティなし、2ストップビット	7ビット、スペースパリティ、2ストップビット
	
7ビット、奇数パリティ、1ストップビット	7ビット、マークパリティ、2ストップビット
	
7ビット、偶数パリティ、1ストップビット	
	

## レコードサフィックスの設定 (RS232C のみ)

読み取りデータに終端キーを付加する設定となります。

例：CR キーを設定すると読み取りデータに CR キーを自動的に付加して出力します。

該当項目を読み取っていただくことで設定が付加されます。

無効	CR (初期値)
	
LF	CRLF
	
TAB	SPACE
	

## パワーオンビープの設定

バーコードリーダーの起動音の設定をします。

ご使用の環境で起動音を鳴らす必要がない場合は設定を行ってください。

① ~ ④の順番に読み取って頂くことで設定が付加されます。

①：設定開始	②：パワーオンビープ
	

③：以下の2項目より1つを選択して読み取ってください。

有効 (初期値)	無効
	

④：設定終了


## グッドリードデュレイションの設定

読み取り成功音の鳴動時間を設定します。

① ～ ④の順番に読み取って頂くことで設定が付加されます。

①：設定開始	②：グッドリードデュレイション
	

③：以下の4項目より1つを選択して読み取ってください。

短い	標準（初期値）
	
長い	最長
	
最短	
	

④：設定終了


## ブザーの設定

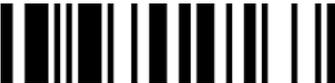
読み取り成功音の音程を設定します。

① ～ ④の順番に読み取って頂くことで設定が付加されます。

①：設定開始	②：ブザー
	

③：以下の4項目より1つを選択して読み取ってください。

無効	低音
	
標準（初期値）	高音
	
最高音	
	

④：設定終了


## システムコマンドバーコード

---

### 工場出荷時設定



本設定バーコードを読み取ると全ての設定が工場出荷時の初期値に戻ります。

### システムインフォメーションリスト



本設定バーコードを読み取ると指定したインターフェースからバージョンを出力します。

### セーブユーザーデフォルト



本設定バーコードを読み取ると現在の設定をフラッシュエリアに保存します。

### ユーザーデフォルト



本設定バーコードを読み取ると保存した設定を呼び出して設定されます。

# サンプルバーコード

---

UPC-A



UPC-E



JAN-13



JAN-8



Code39



# サンプルバーコード

---

Codaber / NW-7



Interleaved 2of5



Code128



GS1 Databar (RSS-14)



新雑誌コード

(JAN13 + アドオン5桁)



## サンプルバーコード

---

QR Code



Data Matrix





株式会社アイエムプロジェクト

〒333-0811 埼玉県川口市戸塚 2-21-34

アルトピアノ 2F

TEL : 048-299-5062 FAX : 048-456-5382

<http://www.improject.co.jp>

201701

[ 販売代理店 ]



日栄インテック株式会社 Auto-ID グループ

〒110-0016 東京都台東区台東 3-42-5

日栄インテック御徒町第1ビル 8F

E-mail : [info@barcode.ne.jp](mailto:info@barcode.ne.jp)

TEL : 03-5816-7141